

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2026年2月12日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	川西倉庫株式会社
所在地	〒652-0831 兵庫県神戸市兵庫区七宮町一丁目4番16号
代表者役職・氏名	代表取締役社長 川西 二郎
担当者連絡先	電話：078-671-7931 (担当：湊) メール：junko.minato@hms.kawanishi.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.kawanishi.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

1918年設立以来、物流業の老舗として国内主要貿易港を中心に普通倉庫・冷蔵倉庫を展開し、港湾運送から保管、通関、流通加工、輸配送まで生産と消費を効率よく結びつける一貫した総合物流サービスを提供しております。
---

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	・自社施設(8か所)を利用し、太陽光発電および売電への取り組み ・グリーン経営等の取り組みにおいて、CO2排出量削減の実施	・電気使用原単位の前年比1%削減目標 参考：2021年 原単位 6.06
□環境 ✓社会 □経済	・人事制度・社内教育体制の充実 ・多様性に配慮した労働環境の整備 ・健康経営の推進	・働きやすい環境整備に向けた適切な評価処遇制度を構築 ・健康診断、メンタルヘルスチェックの実施：100% ・男性育児休暇取得率の向上
□環境 □社会 ✓経済	・持続可能なインフラの整備 ・最適なサプライチェーンの構築 ・グリーン物流パートナーシップの取り組み	・次世代型物流倉庫の建設、次世代型荷役機械装置の導入等 ・メーカー物流の強化、物流拠点の機能拡充

(次項へ続く)

### SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	全社的なコンプライアンス体制の充実、徹底を図るため、また違反行為についての処置を決定するために、代表取締役社長を委員長とするコンプライアンス委員会を設置している。コンプライアンス委員会の委員は取締役会のメンバー、事務局長は総務部長。また、コンプライアンス規程やパワハラ・セクシャルハラスメントの防止に関する規程を制定しており、教育、研修、指導については、役員および従業員にコンプライアンス意識の周知徹底を図るとともに、高度な意識を持続させるために、セミナーへの参加、社内研修の実施、リーダー会議、職場小集団会議等を活用して必要な教育、指導を計画し、実施している。社内外において「報告相談通報窓口」を設置している。年1回以上の全社勉強会を実施。					5.1 5.2 5.5											16.1 16.2 16.7	
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	同上					5.1 5.2 5.5											16.1	
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	人事部にて時間外労働の把握を毎月実施しており、監査室による内部監査においても各職場内での勤怠管理の実態監査を行っており管理体制を整えている。																	8.5 8.8
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	同上				4.4													8.5 8.7 8.8 10.2 10.3
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	各職場にて、安全な作業手順の明示、安全通路の確保、定期的なパトロールや安全会議を実施し、安全対策を講じている。				3													8
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	人事部による個別ヒアリングや必要に応じて産業医による個別相談等を実施している。				3													
	7 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	女性管理職の登用を推進している。障害者向け農園と契約し雇用創出、就労機会の拡大に貢献した取り組みを行っている。																	5.1 5.5 8.5 10.2 10.3
	8 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	各役職に応じた外部研修の受講、職務に応じた勉強会の開催を随時行っている。				4	5.5												8 9
	9 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	規程等の原則に沿った公正な待遇を確保。					5.5												8.5 10.2 10.3
	10 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	同上				3													8
環境	11 【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	2007年よりグリーン経営認証を取得。また、省エネ法において特定事業者指定されており、定期的な勉強会の実施や外部審査等を通じて全社的に環境負荷の低減に取り組んでいる。																	11.6 12.4 12.5 14.1
	12 【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	グリーン経営認証ならびに省エネ法に則り、全社的な電気使用量、軽油等のエネルギー使用量を把握し、削減に取り組んでいる。																	7.3
	13 【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	同上																	7.2 7.3 12.4 13.3
	14 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	同上				3.9													6.3 11.6 12.4

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	グリーン経営事務局(総務部)を通じて、全社的な情報展開を実施している。											12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	環境負荷低減の取り組みの一環として保有資産を有効活用し、太陽光発電および売電事業を行うため、国内8か所の当社営業所設備にソーラーパネルを設置している。								7.2				13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	1997年よりISO9001認証を取得しており、高品質な物流サービスの提供を維持している。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している															9			
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	物流総合効率化法に基づく物流提案を推進しており、環境に配慮した取組みを実施している。							6					12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	倉庫業は、日常生活を維持する重要な役割を担うエッセンシャルワーカーとして、持続可能な社会の発展に貢献しており、公共的使命を意識して取り組んでいる。				4							9	11	12		14	15	17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	障害者向け農園との契約を通じて、収穫した野菜は地域のこども園等に寄付をしている。				4								11			14	15	17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している										8	9		11	12	13			

